

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和8年度第1回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和8年4月23日(木) 午前10時～12時
開催場所	市役所 中会議室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、蘆田圭、藤井雅子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	
出席職員の職・氏名又は人数	教育創造部長 萩原靖久 学校教育課学校教育担当主幹 兼 教育研究室長 伊原正貴 幼保連携課長 上田歌織 幼児教育センター長 橋本恭代 幼保連携課（幼児教育センター）小林木綿子 幼保連携課（幼児教育センター）西村麻衣子 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	(1) 令和7年度就学前教育推進事業報告について (2) 令和8年度就学前教育推進事業計画について (3) その他
会議の記録（概要）	
発言者	内 容
事務局	1 開会 藤井委員委嘱状交付 藤井委員挨拶 事務局 萩原部長、伊原室長挨拶
部長	2 あいさつ
事務局	(資料確認) ここからの進行は、委員長にお願いする。

委員長	<p>では会議次第に従い議事に入る。</p> <p>3 令和7年度就学前教育推進事業報告について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和7年度報告書については、事前に全園の報告書を委員の皆様 に配布し、内容確認・承認を得ることができており、委員会の報告 書として、3月末日までに各園にデータを送付し、ホームページに アップ済みである。</p> <p>保護者アンケートについては、令和7年度は紙媒体とオンライン ツールのどちらかを利用してセンターに一括して結果が届くように した。アンケートの配布数904枚、回答数613枚で、回収率は 67.8%、昨年度は配布数922枚、回答数626枚で、回収率は67.9% で、全体としては同様の回収率である。</p> <p>資料はグラフと保護者の記述をまとめたものを記載している。資 料1をご覧ください、各園のアンケート結果からご意見を賜りた い。</p>
委員長	<p>アンケート結果について検討していく。各園ごとの回収率につい ては二極化している状況があると思うが、この結果を見て1人ずつ 気付いた点をお願いします。</p>
委員	<p>回収率については、なるべく多く回収できれば良いと思う。自由 記述欄を見ると「概ね満足」が多い。来年度以降も、紙とオンライ ンで併用されるか。</p>
事務局	<p>はい。オンラインは業務量としては園側の負担が少ないという利 点があり、紙媒体は、未提出の保護者に声をかけやすく、回収率を 上げ、多くの人の声を聞き、その意見を先生方に返すことができ るという利点がある。園長会で2つ提示し、希望を取った。</p>
委員	<p>紙媒体のアンケートでは、細かく丁寧に対応でき、回収率が高い という利点があると分かった。</p>
委員	<p>自由記述欄に、働き方改革が進みマニキュアや髪色も保育現場で 解禁されているところがある。髪色が自由なところでも限度を考え</p>

	<p>た方が良い。</p> <p>行事についてのご意見は改善の余地があると思うが、働き方改革に関わってくると思う。祖父母参観についてのご意見もあったが何かご存じないか。</p>
事務局	<p>園に直接尋ねていないが、家庭の問題等さまざまな背景があると思う。</p>
委員	<p>最近学校で求められることが多岐に渡っている。こども園も同様だと感じた。健康面や衛生面の配慮はもちろん、経験や学びや食育について、座ることについて等の記述があった。また、医療的ケア児を受け入れている園もあり、多岐に渡って先生方がご苦慮されてるだろうと頭が下がる思いだった。働き方改革についても考える必要があり、そのバランスが難しいと思った。</p> <p>保護者からの要望については「知りたい」や「先生に伝えたい」という気持ちからきていると感じた。写真についての意見がたくさんあったが、写真を手渡す方法なども個人情報観点から難しくなり苦慮されるところかと思った。</p> <p>小さなけがでも伝えてもらえたらうれしいという意見も多数あり、小さなことから保護者には伝えていく必要があるのだと思った。</p>
委員	<p>好意的な意見がとても多かったと思う。感謝の気持ちが伝わってきた。</p> <p>こども園の子ども達は、年齢的に園生活について自分で伝えきれないこともある。そのため、写真や映像が見られる機会が多かったり、送迎時に先生から丁寧に話をされる機会があったり、連絡帳等に様子を書かれていたりすること等、丁寧に対応をされているため様子がよく分かるという意見が多かった。とても丁寧に対応されていると感じた。</p> <p>小さな要望や個人的な要望は個々に対応すると良いと思う。写真や映像については、保育の現場では必要なものだと思うので良いと思う。</p> <p>園小接続の取組についての項目は「よく知っている」という方がまだまだ少ないと思った。4・5歳児の保護者は「小学校に入る前に、子どもだけでも小学校を知っていたら安心」という意見もあつ</p>

	<p>たので、取組んでいることが保護者に伝われば、小学校に行く前の不安がより少なくなると思った。取組が進めば理解していただけるとも思った。この取組は大事だと思う。また各園でも概ねよくされてると思う。</p> <p>アンケートについてはオンラインだと回収率が下がるが、集計は楽になるのでうまく活用していければ良いと思う。</p> <p>委員長</p> <p>園の保育の質の向上について、市としての取組は大分伝わってきていると思うが、各園の頑張りを伝える情報発信のあり方が課題になってくる。</p> <p>アンケートに、回答いただいている方々の8～9割が肯定的な意見だった。否定的なご意見は年々減ってきたような印象がある。「保護者にアンケートを取り公表する」というサイクルが少しずつ馴染んできたと思う。</p> <p>各園の情報の伝え方や回数、媒体等情報発信のあり方を考え、保護者に伝わるようにすることで、保護者からの信頼も得やすくなると思う。</p> <p>行事については、「様々なことをしていただいてありがたい」「家庭では経験できないことを園でたくさん経験させていただいてありがたい」というような意見が多くあったが、ただ「行事をしてもらってありがたい」「行事は大事」ではなく、行事についての意図や思い、それを通しての育ち等、「何のためにその行事をしているのか」を各園で保護者に伝えて理解していただくことが必要だと思う。その上で、配慮を必要とする家庭には個別の配慮をするという考え方を伝えていくことが大事だと思う。また、伝え方は長々と書かず的確にコンパクトに伝えることが求められていると思う。今の風潮として感じるのは、「タイパ」「コスパ」という時代なので、一目見て分かるような情報発信のあり方が保護者には必要なのだと思う。</p> <p>令和7年度保護者アンケートのホームページ公表について ・資料2「令和7年度保護者アンケート集計（案）」</p> <p>事務局</p> <p>自由記述のまとめは昨年度同様、保護者アンケートの自由記述欄を、コパイロットで分析したものを0・1歳児、2・3歳児、4・5歳児に分けて記載している。市全体としてホームページに載せる</p>
--	---

委員長	<p>アンケート集計結果についてご意見を賜りたい。</p> <p>令和7年度、保護者アンケートのホームページ公表について意見を お願いしたい。</p>
委員	<p>要望で「情報発信」が柱として上がっていたので、情報発信されて いて良いと思う。園小については、「強化と継続」ということが 書いてあるのでこのままあげても良いが、「市全体としてのアンケ ート結果」というところを強調しておくことが大事だと思った。全 体としては、かなり向上してきているので、市としては自信をもっ て出されたら良い。</p>
委員	<p>基本的には概ね良い意見であり、先生方が一生懸命されているの で、もう少し楽をしても良いのではという意見もあった。保護者の 多くはこの結果を見て納得されると思う。ただ、強い思いをもって 書いてくださった方が「私の意見はどこへ行ったのか」と思われる のではないかと少し気になった。意見をきちんと発信されているの で、その意見も少し入れると良いと思う。</p>
委員	<p>私もそのとおりだと思った。ご意見に触れていただけると、保護 者も安心かと思った。</p>
委員	<p>このグラフで良いと思う。</p> <p>アンケート分析結果は、AIが上手にまとめており、良い点も課題 も入っている。課題も少し載ると保護者は安心だと思う。分析され た結果を公表することは、アンケート結果が活用されているという ことが理解されて、次回からも回答していただけるのではないかと 思う。</p>
委員長	<p>1つ目の園小接続のグラフは「よく知っている」「知っている」 を合わせたものと「聞いたことがある」「知らない」を合わせたも のに分けてグラフ化し、見せ方を工夫すると、保護者が見て違いが 分かりやすい。</p> <p>2つ目は、保護者の強い思いに触れておくと、自分が書いたこと が反映されていると思ってもらえるので、どこかでご意見を紹介す ると良いと思う。</p>

事務局	<p>定型フォーマットと行政的な視点から考えると、この形で良いがトップページや最後のページにキャッチコピーのようなものを入れたらどうかと思う。見出しになるようなキャッチコピーを入れると、1ページ見ただけで後ろをあまり読まなくても概要が分かるので良いと思う。ご検討いただければと思う。</p> <p>4 令和8年度就学前教育推進事業計画について事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3「令和8年度年間スケジュール表」 ・資料4「令和8年度視察訪問希望調査」 ・資料5「令和8年度スケジュールについて」 ・資料6「視察訪問―園用―（案）」 ・資料7「視察訪問―担任用―（案）」 ・資料8「視察訪問質問【支援の必要な幼児について】」 <p>資料3は、本年度の流れを一覧にしている。</p> <p>資料4について。この様式で2月に各園から提出いただき、まとめたものを裏面に掲載している。</p> <p>資料5は、資料4に基づいて1年間のスケジュールを記載している。1点変更がある。11月6日（金）かすがこども園の第2回視察訪問は、11月2日（月）に変更となった。</p> <p>次に、本年度から視察訪問での各園の提出資料を変更したことに伴い、自己評価も資料6、7、8のように変更したので説明する。</p> <p>資料6について、昨年度までは1項目に担任記入の自己評価があり、2項目から9項目が園記入の自己評価になっていた。本年度は園用と担任用に分けたので、1から8項目が園記入の評価となる。目次の下欄に第1回目、第2回目の提出物を記入している。昨年度の委員会でも検討いただいたように記入にあたっては、今年度特に力を入れて取り組まれているところと例年からの変更点を記入いただくことにしている。継続項目は記入なしにしている。</p> <p>資料7は各担任が委員に相談したいこと等を記述する資料である。昨年度までとは異なり担任の記述は、この資料のみになる。ただクラスのドキュメンテーションを訪問前に提出いただくことしており、各委員にはそれを見ていただくことで、遊びの流れなどはご理解いただければと思う。それに加え、当日担任が話したいことを</p>
-----	---

	<p>言葉で伝えてもらおうと考えている。担任記述の資料には第1回では「本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか」「今頑張っているところ」「相談したいこと」を記入いただく。第2回では、「1回目に委員の先生からいただいた助言内容」「助言を受けての取組の実施状況等」「子どもの育ちや変化」「その変化を受けて、今後どのように保育を進めていこうと考えているか」を記入いただくとともに第1回と同様に「頑張っているところ」「相談したいこと」を記入していただく。</p> <p>12月末に、まとめとして第2回に助言いただいた内容とそれを受けての取組の方策を記入し提出いただく。担任の先生によって文章量が異なるため、実際の資料としての量感は分かりかねるが、この資料に各学年のドキュメンテーションがついてくると思っていただけたらと思う。ドキュメンテーションの大きさはA4かA3サイズで依頼しているが、園によって大きさは様々であるので、委員の先生方にはデータで送らせていただこうと思っている。</p> <p>次に、資料8は特別支援内容についての質問様式である。クラス全体としての支援に目を向けてほしいというセンターの意図があり、従来の様式から変更した。個人に対してどう支援したら良いかということだけでなく、クラス全体に目を向け、どのように支援すれば良いかを考えられるよう支援の必要な幼児の「個人のエピソード」と「その時の対応や配慮、気が付いたこと」プラス、「クラスとして気を付けていきたいこと」「悩み」等を記述してもらえよう、このような様式にした。</p>
委員長	<p>大きく分けて2点について協議する。</p> <p>まず1つ目はスケジュールについて。2つ目は自己評価の様式が変更になったことについて意見をお願いしたい。</p>
委員	<p>担任用の資料がシンプルになり書きやすいと思う。昨年度までのような項目が細かく分かれている自己評価資料も良かったが、先生方も「細かく記入する」ということに随分慣れられたと思うので、「昨年度までの資料を踏まえて記入してください」と伝えておくと、記入の際の参考になるかと思う。特別支援の様式は、「クラス全体に目を向けて考えること」が大切なので、書きやすくなるのではと思う。</p>

委員	園用は2回提出か。
事務局	はい。1回目を取組の状況や方向性を記入いただき、2回目に助言内容とそれを受けての取組の方策を記入し提出いただく。
委員	承知した。担任用資料はとても書きやすくなったと思う。ただ、訪問する側として、担任の先生に気を付けていただきたいことが1点。担任をしていると特別支援の必要な子がとても気になる先生もおられると思う。しかし保育内容での訪問時、委員は特支の子も含めた「クラス全体を見せていただく」ということを園の先生方に意識していただけるとありがたいと感じる。
委員	特別支援内容の資料について「クラスとして」という観点が入ったのはとても良いと思う。昨年度も訪問時に周りの友達との関係をお聞きする場面も多々あった。対象となる子が「先生とどう過ごしてどう成長するか」ではなく、クラスの中で、「友達とどう過ごしてどう成長していくか」ということが重要だと思う。先生方にもそのような視点をもっていただけることはありがたい。
委員	小学校でも各クラスの中でいろいろな児童が一緒に過ごすということが基本になってきている。こども園から「クラスの仲間」「一緒に過ごす」という感覚が当たり前になり、その感覚で小学校に入学してくるので小学校としてはありがたい。視察訪問時もそのような視点で見せていただきたい。
委員長	資料7ではどの学年の先生方も「西脇市就学前教育・保育カリキュラムを確認しました」の項目に自己チェックを入れるようになっているが、(6)の5歳児のページには、もう1点追加して、「西脇市のアプローチカリキュラムを確認しました」の項目に自己チェックを入れるようにすると、本日配布いただいた「園小接続カリキュラム事例集」の更なる活用につながると思った。またこの担任用の資料に連動する形で資料6の園用の「6 園小の連携」の項目に関しても、「西脇市接続カリキュラムを確認しました」というチェック項目を入れていただくと、園小の先生方が作成された事例も確認した上で取り組んでいくということにつながると思う。そのチェック項目を入れていただきたい。

事務局	<p>5 その他 その他について事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料9 令和8年度西脇市課題別研修会について</p> <p>今年度は公開保育、教育・保育内容研修、園小架け橋研修、特別支援学習会の4つの分野に分けて研修を実施する。昨年度まで公開保育をキャリアアップ研修の幼児教育分野と兼ねていたため、公開保育をしてくださる園に負担がかかっていた。またキャリアアップの幼児教育に関しては大半の先生が取得されているので、今年度からキャリアアップ研修と兼ねず、1年に2園が1回ずつ公開保育をすることにした。今年度は西脇こども園とつまこども園が公開保育をされ、鈴木先生と瀧川先生に講師としてご助言いただくことになっている。小学校にも案内し、多くの先生が参加しやすいよう公開保育自体は午前中としているが、公開園のみの園内研修を午後にもてるよう時間を設定している。2園とも、悩みや今後の方向性等、講師の先生方にお聞きしたいという希望があるので、鈴木先生と瀧川先生には午後もお時間いただけるようお願いしたい。</p> <p>「教育・保育内容研修」では、担当学年（0～2歳児、3～5歳児）向け、経験年数（10年未満、10年以上）向け、管理職向け、全職員向け、と課題別に企画をしている。昨年度、染物遊びを楽しまれていた園があり、他園では経験されていない先生もおられるのではないかと考え、経験年数別の研修では体験しながら学んでもらえる内容も計画している。</p> <p>管理職向けは、災害が起きた時の子どものケアについて研修する。</p> <p>園小架け橋研修は4回計画している。4回目が調整中であるのは、園小架け橋研修やカリキュラム研究委員会を進めていく中で、もう少し聞きたいことや補いたいことを見つけた後、講師を決めようと思調整中としている。1回目は接続カリキュラム委員会と園小架け橋研修を兼ねて実施し、泉大津市立楠小学校の竹野教頭よりスタートカリキュラムについて具体的にお話いただいた。とても反響が良く、1年生担任が早速実践され、手応えを感じておられるとお聞きしてうれしく思っている。竹野先生自身も西脇市がどのように進んでいくのか、どのように変わるのか見たいと言われているので今後も連絡をとりながら進めていきたい。</p>
-----	--

委員の先生方の机上に園小接続カリキュラム委員会で作成した事例集を置いている。実際に作成することで見えてきた課題もあるので今年度作成するものについては内容を少し変えていきたい。先日の委員会（研修）で竹野先生が実践を具体的にお話され、スタートカリキュラムを運用し育ててきた子どもたちがどう成長していったか、中学生になった今、「中学校でどうなっている」ということを話されたことで、「そんなに変わるのか」と思われた先生方も多かった。この委員会（研修）は4月3日という大変忙しい中、市内の小学校1年生の担任全員とこども園の昨年度と今年度の5歳児担任に来ていただいたが、今回はこども園の園長先生が全員来てくださった。園長先生方に「就学前教育のことを踏まえながら小学校教育も考え、学びがつながるようにしてくれている。このような話をきちんとしてくれている」ということを、実際に感じていただけたのでは思う。

第1回目の特別支援学習会では、西脇市教育委員会の指導主事で昨年度特別支援担当の架け橋期のコーディネーターから話を聞くことになっている。内容は、昨年度進学・就学に不安がある保護者の方向けに学校教育課が説明会をされたもので、その説明会の内容にプラスアルファして、こども園の先生方が分かっておられた方がよいことを話していただく予定にしている。

学校教育課の先生方は、入学に際し少しでも不安に思われる保護者の方がおられると一対一で話をしてくださったり、不安が解消できるようにとご尽力くださっており、架け橋期のコーディネーターとしてこども園と小学校をつなぐ役割を果たしてくださっている。

次に昨年度の委員会で委員の皆様にご助言いただいた2点について、今年度取り組みたいと思っていることをお伝えする。1点目はつなぐんについて。「保護者向けに発信できないか」と助言いただいたので、今年度から保護者向けに就学前教育・保育について、また園小接続について発信していきたいと考えている。2点目。ここ数年センターが作成し委員会での資料としてあげている視察訪問時の様子をまとめたものを各園に提供することはできないかと何度か助言いただいていた。保育内容に関して、今年度の資料を入れた上で、各園学年ごとにまとめて年度末に配布できるようにしたいと思う。

委員長

1点目、今年度の研修会実施計画について、2点目、「つなぐ

	<p>ん」を保護者向けに発信することについて、3点目、委員会での資料の各園配布について意見はありますか。私はこれで良いと思うがどうか。</p> <p>—————全員 了—————</p>
委員長	<p>それでは、その方向でお願いする。</p> <p>以上で議題が全て終了した。みなさんの円滑な運営の協力に感謝する。進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>6 次回開催予定</p> <p>次回の委員会は、令和8年8月28日（金）午前10時から中会議室で予定している。内容については、1回目の視察訪問を踏まえて、各園の取り組み状況等について協議をいただきたいと考えている。</p> <p>閉会の前に教育創造部長よりご挨拶申し上げます。</p>
部長	<p>あいさつ</p>
事務局	<p>7 閉会</p> <p>以上をもって、本日の会議を終了する。</p>